

料金後納
郵便

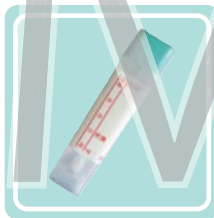
SAMPLE

転送不要

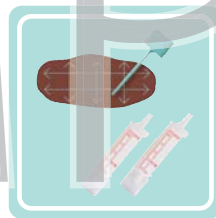
「自宅で簡単にできる」

大腸がん検診は便検査です。

「大腸がんって、お尻からカメラ入れるやつでしょ」と誤解してる方多いんです。大腸がん検診は自宅で便を2日間採取して医療機関に提出するだけ。それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。



検査キット



容器のフタについた棒で便の表面を採取

注) 痔の方もお受けください。現在明らかな出血や痛みがある場合は時期をずらして受けることをおすすめしますが、そのような症状がない場合は検査結果にはほぼ影響がありません。

この庄着はがきは、国立がん研究センター(国研)社会科学研究部が作成しました。

大腸がん検診の流れ

対象:40歳以上

自己負担:0000円

1.受診場所を選ぶ

市ホームページに掲載されている医療機関リストからお選びください。

詳しくは

〇〇市がん検診

検索



2.医療機関に検査容器と問診票を取りに行く



3.自宅で便を2日間採取



4.検査容器と問診票を医療機関に提出



5.検査の結果

約2~3週間程で結果が出ます。検査結果を確認してください。

「要精密検査」という結果が出た場合は、必ず医療機関で精密検査を受けてください。

SAMPLE

SAMPLE

大腸がん
検診の
お知らせ



国立がん研究センター 社会と健康研究センター
検診研究部長 斎藤博先生

SAMPLE

SAMPLE

OPEN

〇〇市より約0,000円の
助成があります。

大腸がん検診(便検査)は助成がない場合、4千円程度か
かる検査ですが、市の検診を受けると、市から約x,xxx円
の助成を受けていることになります。(自己負担xxx円)

検査費用	約〇〇〇〇円
助成金	約〇〇〇〇円
自己負担金	〇〇〇〇円

※現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は、平成00年0月00日

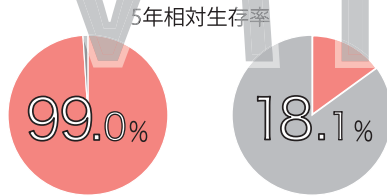
例年、受診期限が近付くと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

〇〇市健康福祉部 〇〇〇〇課
〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

斎藤医師に聞きました。 大腸がんについて、大事なポイント

「早く見つけて、早く治す」
ことが大切。早期のうちに治療すれば
90%以上が治癒します*1。

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない
内視鏡での手術(入院は2~3日、または必要なし)で治療
が可能です。しかし、進行してがんが肺などに遠隔転移し
た後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。



早期発見した場合 (I期)

早期発見できなかった場合 (IV期)

*1 ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。
相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典:全がん協加盟施設の生存率共同調査(2004~2007年全症例)

大腸がんは、早期のうちほとんど
「自覚症状がありません」

みなさん「血便が出たら」とか「異常を感じたら」
病院に行こうっておっしゃるんですが、
大腸がんは、早期には自覚症状がないんです。
「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。

大腸がんは、女性の部位別がん

死亡数第1位。男性でも肺がん・胃がんに
次いで死亡者数が多いんです*2
命を守るため、大腸がん検診を
必ず受けて下さい。



*2 出典:人口動態統計(2014年)